

「でんしゃくん、出ておいで」

保育士と一緒に絵本を楽しんでいた
3歳児の子どもたち。絵本に出てくる
主人公の「でんしゃくん」が、すっかり
気に入った様子です。



園庭に出ると、スコップを手にした子ども
たちは、さっそく砂の山作りに取りかかり
ました。



けれども、砂の山のトンネルは、何回
作っても、すぐにこわれてしまいました。



その様子を見ていた5歳児のIちゃんが
トンネル作りを手伝ってくれました。
小さなトンネルが出来上がると、みんな
大喜びです。



小さい子を思いやる5歳児のやさしさと砂の
トンネルを見つめる子どもたちのワクワクした
気持ちが伝わってくる場面でした。🚗

「ぼくは、おにいちゃん」

4歳児に進級したJくんには、気にな
っていることがあります。



散歩のとき、手をつないだことがきっかけ
となって、入所したばかりの3歳児の
Kくんが、Jくんの姿を見かけると、いつも
笑顔で駆け寄ってくるようになったからです。



Jくんが走るとKくんも走ります。



おにいちゃんとお兄ちゃん、最初は戸惑っていた
Jくんでしたが、だんだん大きいクラスに
なった喜びを感じるようになってきました。

